

第 4 回検討協議会への意見まとめ

第 4 回検討協議会開催後、事務局へ寄せられた協議会委員からの意見を集計した

乗り継ぎについて

- ・乗り継ぎを実施することは、コスト面、運用面で課題が残る
- ・乗り継ぎを実施する場合、乗り場の増設、滞留場所の確保など、施設の改修が伴う

路線の再編について

- ・路線の再編にあたっては、既存路線バスへの影響を考慮すべきである
- ・路線バスと i バスの住み分けを明確にすべきである
- ・どの地区からも市役所・市立病院へ乗換えなしで行けるルートを作るべきである
- ・交通不便地域を解消すべきである
- ・区画整理事業等が完了した後の、将来を見据えた市内交通網の検討をすべきである
- ・アンケート結果や市民の要望のみで改定をおこなうべきではない

見直し案への意見について

- ・60分サイクルを優先することとした場合、どの施設を回りどの施設を回らないかを決める必要がある
- ・一部区間を廃止するとなると、川崎市・地元自治会等との調整が必要になるだろう。また、実際に利用している方への周知のための時間が掛かると想定される
- ・はるひ野線廃止をするのであれば、稲城駅－永山駅線を提案したい
- ・路線案のうち、見直し案③に賛成する

i バスの役割について

- ・稲城市の地域特性を鑑みた上で、多様な移動手段の中での i バスの役割を明確化すべきである

補助金について

- ・i バスの増便できる車両台数や、運行補助金の限度額について、定めるべきである

その他

- ・乗降時間を精査し、運転間隔のばらつきを平準化すべきである
- ・乗車位置のペイント表示について、路線バスとの混同が起こらないように分かりやすく表示すべきである
- ・利用乗客のルール遵守について周知・啓蒙すべきである
- ・なぜ見直しをおこなうのかの主旨を明確にすべきである
- ・今回の見直しでは、長期的な視野での市交通網の検討、増便が必要な路線の検討、見直しすべき路線の検討、程度にとどめるべきである